

会議録

◇詳細一 教育部庶務課文化財グループ 電話 03-3981-1190

附属機関又は 会議体の名称	令和3年度 豊島区文化財保護審議会（第2回）	
事務局（担当 課）	教育部庶務課	
開催日時	令和4年3月17日（木） 午後2時～	
開催場所	教育委員会室	
出席者	委員	佐々木 隆爾（会長・東京都立大学名誉教授） 菊池 徹夫（早稲田大学名誉教授） 内田 青蔵（神奈川大学教授）※オンライン出席 副島 弘道（大正大学名誉教授）※オンライン出席 小川 直之（國學院大学教授）※オンライン出席 加藤 律子（日本刺繍作家） 古泉 弘（としま遺跡調査会理事長）※オンライン出席 小澤 朝江（東海大学教授）※オンライン出席 長佐古 美奈子（学習院大学史料館学芸員）
	事務局	庶務課長 庶務課文化財グループ係長、庶務課文化財グループ主査、 庶務課文化財グループ主任
公開の可否	公開	
非公開・一部公 開の場合は、そ の理由		
会議次第	（1）豊島区文化財の登録について 【候補物件1】有形文化財（建造物） （2）豊島区文化財の登録について 【候補物件1】有形文化財（建造物）	
○事務局	～ 開会あいさつ ～	

○会長	<p>それでは、これより議事に入ります。</p> <p>次第の2、豊島区文化財の登録について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>～ 事務局より教育委員会からの答申資料について説明 ～</p>
○会長	<p>ただいま事務局より説明のあった内容も含めまして、ご質問やご指摘等お願いします。</p>
○委員	<p>店舗兼住宅の建築年の件なのですが、四代留吉の妹さんの生年は、何年ですか。</p>
○事務局	<p>明治40年です。</p>
○委員	<p>榎本家住宅から旧中山道を北区側に進んだところにあった、古い住宅について、関係があるのであれば、書き添えてはどうですか。</p>
○事務局	<p>そうですね。</p>
○委員	<p>7登録理由の9行目「大正6年」と、その1ページ目、下から7行目「昭和4年」の後ろに西暦がないのですが、付けなくても大丈夫ですか。</p>
○事務局	<p>ありがとうございます。漏れていましたので、加筆させていただきます。</p>
○委員	<p>1枚目のほぼ真ん中からちょっと下、「木造つし造」は印字ミスですか。</p>
○事務局	<p>漢字では、「厨子」と書きますが、通常はひらがなで「つし」と表記される場合があります。</p>
○委員	<p>その3行下に「新座敷新」とありますが、印字ミスですか。</p>
○事務局	<p>これは「新座敷棟」です。</p>
○委員	<p>揚げ戸が残っているというのがやはり非常に古くて、しかもそれがちゃんと上屋筋のところにあるというのが、非常に価値があると思います。ですから、今後の指定に向けての課題として、明治40年創建当時がどんな姿だったのかというのを、もう少し詳しく調べるといいかなと思いました。</p>
○事務局	<p>ありがとうございます。</p>
○委員	<p>今回はあくまで文化財登録で、その後きちんとした形で調査をするということですね。</p>
○事務局	<p>そうです。来年度中のなるべく早い時期に調査に取り掛かれればと思っております。</p>
○委員	<p>文化財にするのであれば、図面のレベルも上げなければまずいと思いますので、今後調査を進めていただければと思います。建物の来歴や工法の特徴などいろいろわかるのではないかと思いますので、その辺を調査後に、少し整理をするという形になるのではないかと思いますので、そういう解釈でよいですか。</p>

○事務局	はい、それで大丈夫です。
○会長	ありがとうございました。他に意見ございませんか。
○事務局	四代留吉の妹の生年「明治40年」に建てられたという伝承や残された写真に写っている人物の没年から大正13年以前の建築であることが明らかであることをふまえたうえで、段落の最後のところを「明治後期から大正初め頃の建築と推定する」という形に改めたいと思います。
○会長	以上をもちまして、第1の答申とさせていただきたいと思います。
○会長	それでは、これより議事に入ります。 次第の4、豊島区文化財の登録について、事務局より説明をお願いします。
○事務局	～ 事務局より教育委員会からの諮問資料について説明 ～
○会長	ただいま事務局より説明のあった内容も含めまして、ご質問やご指摘等お願いします。
○委員	今後公開するということは、この建物に何らかの形で手が入るということが考えられます。そうすると、どこに手が加わり、現状のどこに価値があり、多少手が入っていい部分はどこかという判断のため、きちんとした現状の調査が必要です。諮問文にあるように自由学園明日館との関係性というのも、きちんとした文化財の価値づけ、位置づけできることは素晴らしいと思っておりますが、手が入ると予測されていますので、どういう形で手が入るかコントロールあるいは意見統一のためにも、現況を知る報告書というものが必要だと思いますので、お願いします。
○事務局	ありがとうございます。答申の終わったタイミングぐらいから、調査を開始して、報告書の作成につなげていきたいと考えています。
○委員	設計をした遠藤楽氏について、設計者の評価のようなものに触れる必要はないのでしょうか。
○委員	建築の世界では大変著名な建築家です。今回指定の対象となる建物というのは、遠藤楽氏がアメリカでフランク・ロイド・ライトの下で修行した帰国後の初めての作品になると思います。父親の遠藤新氏を筆頭に、日本のライト式建築の流れを戦後引き継いだ方という評価を与えられている建築家です。
○委員	浅学でわからなくて質問させていただきました。言葉遣いとしても、「設計は遠藤楽」とするより「設計を担当した遠藤楽はライトの弟子である遠藤新の長男で」という文章のほうがよいと思います。
○委員	2ページ目の、「世界的建築家と師弟関係にあった設計者の建物と、師の手による建物とが隣接しているという事例は極めて貴重」という一文ですが、

	<p>そういった事例はあまりみられないのでしょうか。ここだけと思われてしまうので、何か他にあり得るのかと思いました。</p>
○事務局	<p>ご指摘のとおりと思うのですが、ここでは、唯一という言葉避けて、貴重であることは貴重であると思ったので、とりあえず極めて貴重という言葉を使いました。</p>
○委員	<p>遠藤楽氏の生没年を入れたほうが親切だろうと思います。それから、登録理由の7、「廊下で諸室をつなげるような」という言葉が、次のおそらく「一般的な事務所建築」にかかっているのだらうと思いますが、もしもそうだとしたら、「廊下で諸室をつなげるような」という言葉を、「一般的な事務所建築」の後ろに入れないと建物が廊下で諸室をつないでいるのかと思ってしまうので、順番を変えたほうが明快かと思います。</p>
○事務局	<p>それが良いと思いますので、修正させていただきます。</p>
○委員	<p>自由学園のほか、三つの施設がここにある地理的、歴史的な理由はあるのでしょうか。</p>
○事務局	<p>羽仁吉一・もと子夫妻が、明治年間に婦人之友社を立ち上げて、その理念に基づいた学校ということで、自由学園をつくり、創設します。婦人之友の愛読者の方々が友の会をつくって、その友の家を婦人之友社に隣接する場所につくった、という経緯かと思います。</p>
○委員	<p>建設当初からそれぞれの部屋の使いかたというのは、移動はないということですか。</p>
○事務局	<p>大きく移動はありません。社長室が、小応接室と印刷室にちょっと改造されていますが、それ以外のところは大きく変わっていません。</p>
○委員	<p>部屋の名前なんですけど、あとから増築したという部分があって、その部分を区別のお名前をつけたほうが区別が付きやすいかなと思いました。</p> <p>それから、この建物の価値として、設計図・仕様書・模型なども残っているということで、それと対比することで、オリジナルの部分と見分けることができるので、この図面などもどのくらい残っているのか、リストも含めて調査されることがよろしいのではないのでしょうか。</p> <p>もう一つ、先ほど話題に出ていました、師匠の建物が隣接しているという事例は極めて貴重であり、という部分ですけど、貴重と書いてしまうと、希少みたいな感じがしてしまうので、ある一連の同じ様式の系譜を引いて、一群として残っているということが大事なので、「師の手による建物が隣接し、これらが一群で保存する意義が大きい」というところにつなげてしまえばいいと思いました。</p>
○事務局	<p>ありがとうございます。大変助かりました。</p>
○委員	<p>婦人之友社が明治36年になっていますが、最初は家庭之友社でしたよね。</p>

○事務局	雑誌名は「家庭之友」であったと思います。そのあたりを確認して、正確にいたします。ご指摘ありがとうございます。
○委員	本来ならば、きちんと調査をした段階で、所見というものが書かれるべきなのですが、今回は調査のなかでまとめられたものだろうと思いますので、先ほどの住宅と同様、調査後に、改めてこの所見を緻密なものに変えていくということになるんじゃないかと理解しています。
○事務局	ありがとうございます。先ほど、ご指摘いただいた設計図の調査等を含めても、なるべく早いタイミングで綿密な調査に取り掛かれるといいと思っています。
○会長	それでは、これで全ての意見が出尽くしたと理解しています。なければ審議は以上とさせていただきます。
○事務局	～事務局より報告事項について説明～
○会長	どうも皆さん、大変ご協力ありがとうございました。本日の委員会はこれにて閉会といたします。